

Title	榎原正勝教授退任記念号発刊にあたって
Sub Title	
Author	清家, 篤
Publisher	慶應義塾大学出版会
Publication year	2008
Jtitle	三田商学研究 (Mita business review). Vol.51, No.4 (2008. 10)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	榎原正勝教授退官記念号
Genre	Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234698-20081000--003">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234698-20081000--003</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 榎原正勝教授退任記念号発刊にあたって

榎原正勝教授は、2007年4月をもって定年退職されました。これを記念して、『三田商学研究』では、榎原正勝教授退任記念号を発刊することとなりました。発刊に際し、学部長として一言、榎原教授の御紹介と御挨拶を述べさせていただきます。

榎原正勝教授は、1965年に慶應義塾大学商学部を卒業し、1968年に同大学院商学研究科修士課程、1972年には同博士課程を修了されました。この間1967年に松商学園短期大学専任講師となり、1974年には武蔵大学助教授に転じ、1981年に慶應義塾大学商学部助教授に就任されました。その後1991年には慶應義塾大学商学部教授、同商学研究科委員となり、定年で退職されるまで、四半世紀以上にわたり商学部の教育、研究に多大の貢献をされました。1988年から1990年までは、英国バーミンガム大学において、在外研究活動もされています。

専門はマーケティング経済学、経済学方法論で、その研究は、ポパー哲学など科学方法論に基礎をおいた緻密な理論分析を中心としています。日本商業学会、日本経営学会、科学基礎理論学会、日本ポパー哲学研究会などの学会に所属し、精力的に研究活動を続けてこられました。そうした研究の成果として『マーケティング理論と戦略』（共著、有斐閣、1987年）、『経済科学と批判的合理主義——ドイツと日本の知的交流——』（共著、慶應通信、1988年）、『オルダースン理論の再検討』（共著、同文館、2002年）などの著作、最新の「マーケティング競争の性格」（『三田商学研究』第49巻第4号）など多数の学術論文があります。

教育においては、学部におけるマイクロ・マーケティング論、研究会、大学院での商業学演習、マイクロ・マーケティング論、商業学特殊研究、商業学特殊演習などを担当されました。学生の教育にも大いに情熱を傾けられ、学部の研究会や大学院の演習では、研究面はもちろんのこと、進路指導など学生のために時間と労力を惜しまれず、そうした中から、多くの有為な学生が輩出しています。

研究、教育以外にも学生部副部長などとして、学生の福利厚生の上昇に貢献されました。学部内でも学習指導主任など学生支援の仕事に尽力されました。

直接に会ったことのある人なら誰もが認めるように、榎原教授はまことに誠実で親切なお人柄です。学部内で仕事を御一緒させて頂いた折に、当方など年下の者にもじつに丁寧で細やかな御心配りをして下さり、恐縮してしまいました。商学部のスタッフはこうした榎原教授のお人柄のお陰でどれほど気持ちよく仕事をする事ができたことでしょうか。

このような御功績、御貢献に応え、商学部教授会は榎原正勝教授に、全会一致で名誉教授の称号をお贈りしました。名誉教授となられても、後進への変わらぬ御指導、御鞭撻を賜りたいと思

三 田 商 学 研 究

っております。この記念号は後進からの研究上のはなむけです。そうした気持ちを込めて、記念号発刊のご挨拶とさせていただきます。

平成20年10月3日

商学部長 清 家 篤